



ジェネレーションギャップと コンプライアンス

先日、本校教員の年代割合の計算をしてみました。

20代:32.2%、30代:9.7%、40代:16.1%、50代:42.0%……

今回は、ジェネレーションギャップとコンプライアンスについてのお話です。

ジェネレーションギャップが生まれる理由

「ジェネレーションギャップ」とは、世代・年齢によって考え方や価値観、文化や常識などによって生じる認識やコミュニケーションのズレ・隔たりを言います。このギャップは以下のような理由で生まれます。

- ①自分の価値観や行動様式が当たり前と感じているから → 世代の常識や価値観に則った行動をしているだけ
- ②テクノロジーが進歩しているから → 技術の進歩による行動様式、コミュニケーション様式の違い
- ③世代ごとの社会情勢が異なるから → 経済的、教育を受ける環境の違いによる経済的価値観、生活様式の違い

ジェネレーションギャップの具体例と問題点

【具体例】

- 例1) 電話対応 : アダルト→固定電話が当たり前 ヤング→携帯が当たり前 (固定電話は相手がわからず抵抗あり)
- 例2) 上司の誘い : アダルト→上司の誘いは絶対 ヤング→プライベート優先
- 例3) 言葉の意味 : アダルト→アッシー、メッシー、イタ飯 ヤング→エモい、ワンチャン、鬼

【問題点】

- ①ハラスメント : 昔・現代の価値観が絶対であるとの思い込み → ハラスメント・人間関係の希薄さへ
- ②コミュニケーション不足 : ギャップを恐れて距離を置く → 風通しの悪い職場へ
- ③モチベーション低下 : 一方的な評価や制度の変更 → 特定世代のモチベーションを下げる恐れ
- ④イノベーションの妨げ : 新しい手法やアイデアへの抵抗感 → イノベーション創出の妨げへ

ジェネレーションギャップを解消する方法

ギャップを完全に埋めることは不可能ですが、以下のような意識や工夫で解消することは可能です。

- ① お互いが歩み寄る 「私が若いころは…」 「昔の人の考えは…」ではなく、互いの価値観を理解する。
- ② 広く情報収集をする テレビ・新聞・SNSなど、幅広いチャンネルから情報収集をする。
- ③ 多様性を尊重する ジェネレーションギャップを多様性と捉え、尊重していく。

おわりに (各世代の特徴一覧)

- ◇ バブル世代 (1965~1969 生) : コミュニケーション能力が高い、積極的に消費活動する、愛社精神や貢献意識が高い
- ◇ 団塊ジュニア世代 (1971~1974 生) : 保守的かつ現実的、メンタルは強いが自信がない、真面目
- ◇ ミレニアル世代 (1980~1995 生) : デジタルパイオニア、プライベート・コスパ重視、健康意識が高い、多様性を尊重する
- ◇ ゆとり世代 (2002~2011 生) : メンタルが繊細な傾向、自分の意見や価値観を大切に、競争意識や上昇意識が低い、合理的
- ◇ さとり世代 (1987~2004 生) : 他人との衝突を避ける、コスパ重視、現実主義、安定志向
- ◇ Z世代 (1995~2010 生) : 自分の価値観を大切に、他者とのつながりを求める、多様性を受け入れやすい、タイパ重視、社会問題への関心が高い